

令和5年度安城市総合計画審議会第1回第2分科会 議事（要旨）

日 時	令和5年7月21日（金） 午後2時～午後3時40分	
場 所	市役所本庁舎 大会議室	
出席者	委 員	鈴木健司委員、安田孝美委員、河田光司委員、富田清治委員、 鳥居卓司委員、太田良子委員
	事務局	杉浦副市長、伊藤副市長、企画部長、行革・政策監、関係部 次長、健幸=SDG s 課長、健幸=SDG s 課長補佐、健幸= SDG s 課職員
次 第	1 副市長あいさつ 2 議題 (1) 第9次安城市総合計画基本構想（目指す都市像）について (2) 第9次安城市総合計画基本計画（重点戦略）について (3) 第9次安城市総合計画基本計画（分野別計画）について ※「農業」、「商工業」、「観光・交流」の3分野 3 その他	

1 副市長あいさつ

皆様こんにちは。本日はお忙しいところ、総合計画審議会第1回第2分科会にご出席いただきありがとうございます。今年度策定してまいります第9次安城市総合計画について、前回6月の審議会では計画の方針を指し示す基本構想についてご審議いただきました。前回はイメージを例示しておりました「目指す都市像」が決定いたしましたので、この後の事務局からの説明で、改めて委員の皆様にお示しいたします。

また、今回と次回8月14日の審議会では、2つの分科会に分かれ、基本計画について2回にわたりご審議いただきます。ご審議いただく内容は多岐に渡りますが、委員の皆様のそれぞれの知見から幅広いご意見をいただき、より良い計画を作り上げていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、本審議会の委員任期が、本年8月9日までとなっております。まずもってこれまでの委員の皆様方のご尽力に、この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後、任期満了に伴う委員改選の手続きを行ってまいります。第9次総合計画の策定に向けてのご審議をいただいている最中の改選となります。年明け1月の市長への答申まで継続的にご審議いただきたいと考えておりますので、皆様には引き続き委員をお引き受けいただくようお願いしたいと考えております。どうぞご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2 議題

【司会】

議事に入る前に本日と8月14日に開催する分科会の審議事項と運営方法について、事務局から説明させていただきます。

【健幸=SDGs課長】

健幸=SDGs課長の鈴木でございます。資料1の1ページをご覧ください。

第9次安城市総合計画の構成については、基本構想、基本計画、実施計画という3層の構造として策定作業を進めています。本日の分科会では、このうち、赤色の破線で囲わせていただいた「基本計画」についてご審議をいただきます。

続きまして、2ページをご覧ください。総合計画には多数の分野を掲載するため、限られた時間の中で全ての分野を全委員の皆様で審議することは難しいと考え、2つの分科会に分けてご審議いただくこととしております。

本日の第2分科会では、「目指す都市像」「重点戦略」「分野別計画のうち、農業、商工業、観光・交流の3分野」を審議していただきます。なお、本日午前で開催した第1分科会では、「目指す都市像」「重点戦略」は第2分科会と同じ内容をご審議いただき、「分野別計画」については、「子育て、学校教育、福祉」の3分野を審議していただきました。8月14日の審議事項は記載のとおり、分野別計画の残りの分野となります。

以上が分科会の運営方法となります。

また、分科会を運営するにあたりまして、進行していただく座長が必要でございます。座長につきましては、規約等の定めがございませんので、事務局から指名させていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

【健幸=SDGs課長】

それでは、学識経験者である安田委員に座長をお願いしたいと思います。

【司会】

それでは議事に入ります。以降は安田委員に座長として議事の取り回しをお願いいたします。

【安田孝美座長】

みなさん、こんにちは。座長を務めさせていただきます安田です。円滑な議事運営ができますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様には、それぞれのお立場、あるいは市民目線から計画の素案をご覧いただき、市のねらいや、進めようとしていることが伝わる内容となっているかどうか、ご質問やご意見をいただきたいと思っております。

本日の議題は、議題(1)第9次安城市総合計画基本構想(目指す都市像)について、

議題（２）第９次安城市総合計画基本計画（重点戦略）について、議題（３）第９次安城市総合計画基本計画（分野別計画）について、の３つとなっております。

議題（１）第９次安城市総合計画基本構想（目指す都市像）について

【安田孝美座長】

それでは、議題（１）第９次安城市総合計画基本構想（目指す都市像）について、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局説明）

【安田孝美座長】

ただいま事務局から、議題（１）第９次安城市総合計画基本構想（目指す都市像）について、説明がありました。ご意見やご質問がございましたらご発言願います。

（意見や質問なし）

【安田孝美座長】

筋の通った流れとなっていると感じておりますが、目指す都市像については、皆様この内容で皆様ご了解いただいたということで審議を終了させていただきます。

議題（２）第９次安城市総合計画基本計画（重点戦略）について

【安田孝美座長】

それでは、議題（２）第９次安城市総合計画基本計画（重点戦略）について、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局説明）

【安田孝美座長】

ただいま事務局から、議題（２）第９次安城市総合計画基本計画（重点戦略）について、説明がありました。ご意見やご質問がございましたらご発言願います。

【河田光司委員】

質問と意見を合計４点お願いします。

１点目、「しくみ」の分野について、K P Iとして「子育て環境に対する満足度」を掲げていますが、進捗管理のための調査対象者について、同じ方を対象として進捗管理していくのか教えてください。

２点目、「ちから」の分野について、一番初めに農業が来ている理由について教えてください。

さい。

3点目、「ばしょ」の分野について、K P Iに「居住誘導区域の人口」とありますが、一般の市民の方にこの言葉が上手く伝わるのかなと思いますので、どこかに注釈を入れていただくとよいかと思ひます。

最後4点目です。K P Iの「防災・減災対策に対する満足度」について、これがうまく測れるのかどうか不安があります。防災・減災に対する満足度については、大きな災害があった時に初めて皆さんに意識されると思ひますので、何も無い時に満足度を測って上手くK P Iとして、進捗管理できるかと思ひました。以上、よろしくお願ひいたします。

【健幸=SDG s 課長】

1点目のご質問について、無作為抽出の市民3,000人を対象として、毎回対象を変えながらアンケート調査を実施する予定です。

2点目のご質問について、分野別計画の掲載順に記載しておりますので、農業が最初に掲載される形となっております。

3点目のご意見について、第1分科会でも同様のご質問をいただいておりますので、必要に応じて注釈をつけさせていただく予定です。

4点目のご質問について、この部分については、2年に1度無作為抽出の市民3,000人を対象としてアンケートを行いながら進捗管理を行う予定をしておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

【安田孝美座長】

私は全体的な枠組みにつきまして、大変納得のいく内容が書かれていると感じました。計画書というのは大抵こういう形を取らざるを得ないと思ひますが、できれば三つの重点戦略とそれぞれのプロジェクトについての関係がわかるような図やイラストがあると、市民や関係者にもわかりやすいかと思ひますので、ご検討ください。

それでは、本日、委員の皆様から出された意見と本日午前で開催された第1分科会での意見も踏まえて、事務局で検討を進めてください。よろしくお願ひいたします。

議題（3）第9次安城市総合計画基本計画（分野別計画）について

【安田孝美座長】

それでは、議題（3）第9次安城市総合計画基本計画（分野別計画）について、の審議に移ります。分野別計画については、「農業」「商工業」「観光・交流」の3つの分野を一つずつ審議いたします。

まず、「農業」の分野について、事務局より説明をお願ひいたします。

（事務局説明）

【安田孝美座長】

分野の概要について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問がございましたらご発言願います。

【太田良子委員】

私たち農業委員の中でも女性委員が4人おりまして、食育に力を入れて、親子体験や紙芝居など、一生懸命活動しております。しかし、コロナ禍の3年間において、活動の機会が少なかったものですから、また、保育園や幼稚園などでの活動の機会をご提供いただけますとありがたいです。

【産業部長】

食育に関するご提案いただきまして、ありがとうございます。既に今年度関係部会の方にお願いいたしまして、学校での活動にご協力いただくなどの取組を進めております。コロナ禍で活躍いただく機会が少なくなっておりますが、今後も皆様の取組を若い世代に見せていただくという機会を積極的に設けてまいりたいと考えております。

また分野別計画では、施策の取組において、(4)食育の普及及び農への理解とふれあい・交流の促進啓発活動の推進ということで食育に関する内容を記載しております。

新たな取組としましては、動画やSNSを活用した取組ということで、今回はチンゲンサイに関する動画を作成しまして、給食の準備時間に児童生徒の皆さんに見ていただき、理解を深めていただくという活動を現在進めておりますし、今後も積極的に進めてまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

【安田孝美座長】

動画やSNSという話がございました。よい取組をされておられますのでぜひ動画をアーカイブいただき、市民のみなさんに目に止まるような形でやっていただきますようお願いいたします。その他に皆さんいかがでしょうか。

【鳥居卓司委員】

成果指標の「安城市内の食料自給率」について、どのように計算されていくのでしょうか。カロリーベースによるものでしょうか。

【産業部長】

食料自給率の算出方法でございますが、国の食料自給率にかかる算出方法やデータを参考にしながら、安城市における生産額ベースの食料自給率の算出をしてまいります。具体的に安城市の食料自給率につきましては、安城市の農業産出額を分子に、安城市の食料の市内消費志向額を分母にして計算してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【河田光司委員】

認定農業者の育成や法人化、それから地元農産物のブランド化及び販路の拡大という点がキーワードに感じました。我々も金融機関として、企業の発展を願って様々な支援をさせていただいていますが、農業分野との関わりが非常に少ない状況です。こういった企業

が多く出てきていただけると我々も様々なノウハウを勉強したり、販路開拓の点で協力できると考えています。この地域は自動車産業が非常に盛んな地域ですが、工場の遊休施設を活用して農業に取り組んだり6次産業化を目指している企業もごいますので、我々もそういった分野で地域の皆様とノウハウを積み上げてまいりたいと考えております。また、最近では事業再構築などへの補助金もありますので、こうした仕組みを活用して、農業の発展に貢献できればと思います。以上です。

【産業部長】

6次産業化については、我々も課題としてとらえておりまして、新たに策定した本市の農業振興に関する計画の中にも項目として位置付けております。続いて金融機関との連携については、農業者の方は個人が圧倒的多数を占めており、かつ、組合に所属している方ばかりでございます。今後新たな産業として可能性を探る際には、ご協力をいただきますようお願いいたします。

【河田光司委員】

決算書を組む等の事業を営む上での楽しさや意義などを、若い農業者に向けてともに伝えていければと思います。よろしくをお願いいたします。

【安田孝美座長】

これまで農業に携わられた方をどのように継続してバックアップするかという基本的な戦略と、最近では農業分野をターゲットとして新規事業を起こし挑戦する若者が結構増えてまいりました。安城市も農業については日本を代表する市でありますので、ノウハウの蓄積のある既存農家と新しく挑戦しようとする若者たちをうまくマッチングできる仕組みを検討いただくとよろしいかと思っております。

それでは農業分野につきましては、意見が出尽くしたということでここまでとさせていただきます。

続きまして、次の「商工業」の分野について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【安田孝美座長】

分野の概要について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問がございましたらご発言願います。

【富田清治委員】

商店街の復興や繁栄といったことが書かれていますが、かつて、地方のまちや駅前がいつまでも繁栄するわけではないということを勉強したことがあります。その内容はまちというのは大きな建物が郊外にできたり、市役所の移転等により人の流れが大きく変化し、戻ってこないということです。安城市もそのとおりの状況となっており、それに対する対策が取られてこなかった、誰もがその現実気づかなかつた事実があります。こうした大

きな流れの中で、どのようにして商店街を再生していくかという点が課題です。

今はインターネットでの買い物が当たり前となっておりますが、生活必需品等をインターネットで購入すると自分の時間が確保できるようになります。消費行動が大きく変化している中で、今まで通りの販売が成り立つのかという視点で考えなければならないと思います。

また、産業が発展し、まちが経済的に豊かでないとそこで暮らす人たちの豊かさにはつながらないと思います。この地域は自動車産業が盛んではありますが、この地域の産業構造は一つのまちだけでは語れないと考えます。近隣市との連携の中でランドデザインを考える必要があると思いますのでよろしくお願いいたします。

【産業部長】

委員の言われる通り、国の統計を見ましても全国の売り場面積というのは減少の一途をたどっており、消費動向においても、インターネットでの消費割合が高い状況です。しかし、「買い物の楽しみ」という付加価値が重要な要素であるということもまた事実です。今後の商業支援としては、その付加価値をどのように提供していくかという点がポイントとなると考えております。これまでの支援では商店街振興組合を単位とした支援を行ってまいりましたが、今後はやる気のある店舗に対する支援をしていくという方向性を検討する必要があると考えております。

続いて、まちづくりの視点でございしますが、まちというのは商業が栄え、工業が栄えるといった好循環で成り立っていると私ども理解しておりますので、まちの魅力を商業の中で演出していきたいと考えております。さらに、ひとつのまちだけでは語れないというご意見もいただきました。現在、本市を含めた当地域では、それぞれが工夫を凝らして企業誘致を進めております。それぞれの市の取組が、この地域の未来にどのような影響を与えるかはわかりませんが、現時点ではこうした動きが地域のブランド力やこの地域に來たいと考える企業の意向を高めていると考えておりますので、今後もこうした取り組みを継続してまいりたいと考えております。

【鈴木健司委員】

商業集積の手法について、どのように考えておられるか教えていただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

【産業部長】

商業集積については、施策の取組「(1) 商業の振興」の②に記載のありますとおり、既存の主要駅周辺を中心とした取組を継続していくことを考えております。

【鈴木健司委員】

今までもずっと取組まれてきたと思いますし、これまでの取組が芽を出しているようなところもあるかと思いますが、おそらくどこの市町村も苦勞していると思います。そういう視点では、商業集積のような供給面の取組ではなく、コンパクトシティのような人口

集積を通じた需要面の取組を検討してはどうかと思いますがいかがでしょうか。

【健幸=SDGs課長】

本市では現在、日本の構造と同じように人口流出、減少が起きております。そういった面ではこの総合計画に記載される個々の施策を通じて、できる限りこの人口流出、減少と
いうのを止め、人口を増やしたいと考えております。また、委員の言われるように人口を
増やし、かつ、市内での消費を活性化する取組を今後も続けていきたいと思っております
ので、よろしく願いいたします。

【河田光司委員】

私は安城の中心市街地には四年以上携わってしまして、後継者不足でどんどんシャッター
ーが閉まるのを間近で見えています。そのときに地元の方にマンション建設の計画を話した
ことがあります。例えば三河安城は、昔田んぼしかなかった場所に駅ができ、マンション
ができて人が集まり、飲食店が出店する等様々な相乗効果があったと思います。一方で安
城駅の前の商店街は、残念ながらいい店はたくさんありますが、集積とまでは言えない状
況です。本来であれば魅力的な店舗をなるべく一箇所に集めて、ここの通りには右にも左
にもたくさんの店舗が並んでいて楽しいと感じるエリアをつくり、高齢化などにより後継
者がいないエリアは住居系に変えて、マンションなどで人口集約するというような、行政
が主体となって思い切った手を打たないと、徐々にまちの魅力が下がっていくのではない
かと思えます。

もう一点、施策の取組のページに工業用地の確保や工業団地の造成、企業立地の推進と
ありますが、EV化により部品サプライヤーの方の仕事が将来的にかなり減る可能性があ
ります。数年前までは土地を買って工場を建てる話は我々の方にも多くありましたが、こ
こ一年ちょっと下火になってきており、企業も投資計画をもう一度見直そうという動きが
あります。私どもは自動車産業を応援する立場ですので、ぜひ支援したいと思っていま
すが、一方ではそういったEV化の流れもありますので、中長期的な視点において、企業立
地、企業誘致も一度立ち止まってよく考えられた方がいいのではないかと思います。以
上です。

【産業部長】

商店街と言いながらなかなか空き店舗が埋まらないという状況は私どもも認識してお
ります。その中で空き店舗支援事業というもので、新たなテナントを誘致する際に家賃補
助を行っております。このように、新たな魅力であったり、新たなポイントというものを
商業集積の中に持って来られるように頑張りたいと考えています。

企業誘致につきましては、今後いろんな展開が予測されます。本市には自動車関連産業
の立地が多くありますが、自動車関連産業につきましても今我々が取得している情報の中
では、次を見据えた新たな工場の改修や整備というものを市内で計画しているという話も
お聞きしております。未来のことは見通すことができませんが、なるべく多くの方が安城
市内で働く場所を確保していただけるよう、企業とともに産業の活性化に努めてまいりた

いと考えております。

【河田光司委員】

空き店舗等の改修時に市が補助金を出していただけることも把握しております。今後も予算的なご支援もぜひお願いできればと思いますので、よろしくお願いします。

【安田孝美座長】

最近、国でもこれまでなかったような支援策を行っているところがあります。そういった点も参考にさせていただきながら時代にあった支援をよろしくお願いいたします。

私からも少しだけよろしいでしょうか。創業支援において、従来からの金融機関による支援に加え、スタートアップ系の会社につきましては、ベンチャーキャピタリストという方々が活躍する場が多くあります。安城市でもスタートアップを人的側面からサポートする体制づくりを次世代の安城のために整備いただくとよろしいかと思います。また、愛知県や名古屋市でも様々な取組をされていますので、そういったところとの連携についてもご検討いただければと思います。

それから商店街のお話がございましたが、これは各地で様々な取り組みがされておりますが、後継ぎの方々が、新しい取り組みをされて成功されている事例もいくつか出てきています。具体的な事例としては、データに基づく商業ということで、人流などのデータに基づいて商品提案を変えていくような取り組みをされて売上を上げているという事例も少しずつ出てきております。このようなことも参考にされながら商店街の活性化もご検討いただければと思います。

それからもう一つ、ものづくりというのはこの地域の核として今後もしっかりと伸ばしていかなければいけないと思いますが、最近のものづくりは20世紀型のものづくりではなくて、21世紀型のものづくりになっています。これはコンピューター能力の発達により、製造業においても新しい製造業のあり方に関する成功事例が少しずつ出てきているところがございますので、こうした新しいそのものづくりにトライしているところに対し、市としてどんな支援ができるのかというところをご検討いただき、できる範囲で計画に盛り込んでいただければと思います。

それでは商工業分野につきましては、意見が出尽くしたということでここまでとさせていただきます。

続きまして、次の「観光・交流」の分野について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【安田孝美座長】

分野の概要について、事務局から説明がありました。ご意見やご質問がございましたらご発言願います。

【鈴木健司委員】

安城市は住宅都市であると思いますが、そうしたまちの観光ってなんだろうという疑問があります。というのはいくら資源を磨いても、おそらく名古屋城などの著名な観光施設に人が流れてしまうことになると思うんですね。そう考えた場合に、安城らしい観光について考えた方が良いのかなと思います。これは難しくてなかなか考えられないと思いますが、地に足がついたような観光というのがあってもよいではと思います。それが市民向けの内容でも私はいいと思いますし、関係人口とか、交流人口という点であれば、全国から仕事関係で訪れる方もいらっしゃると思いますので、その方達をもてなすといった視点を加えてもよいかと思います。また、安城らしい観光というものを7年間考えるという内容でもいよいように思いますがいかがでしょうか。

【産業部長】

私ども考える観光の根源というのは、産業面からみていかに安定してお金を落とすだけかということであると思います。しかしながら名古屋城という例示をいただいたような強力な資源は一切ないという状況の中で、既存の資源をきっかけに安城にお越しいただき、そのうえで、どうやって安城市内でお金を落とすか注力して検討してまいりたいと考えております。

【安田孝美座長】

少し前に産業観光という言葉がありましたが、ものづくり産業のいろんな工場を巡るツアーなんかを観光の目玉にしようといった動きも一つの方向性かと思いました。また、安城七夕まつりという素晴らしい資源をどうプロモーションするかという点もご検討いただければと思います。

【鳥居卓司委員】

近々、大型商業施設であったり、三河安城駅前に新しいアリーナができると聞いておりまして、こうした計画と連携してまちづくりが進んでいけばよいと思います。

【行革・政策監】

施策の取組「(4)さらなる交流の促進」②にありますとおり、三河安城駅周辺にてプロバスケットボールチーム「シーホース三河」のホームアリーナとして5,000人規模の施設が計画され、令和8年に開業予定です。これを契機に公民連携による取組をさらに進めるとともに、交流人口、関係人口の創出に取り組んでまいりたいと考えております。

【太田良子委員】

私はデンパークの開業時から関わらせていただいていたのですが、デンパークに関しては市外の方々には評価が高く、よく来てもらえていると思いますが、市民があまり行かないように感じています。また、堀内公園は遊具が安く利用できるため、よく孫たちを連れて利用しているのですが、両者が連携しながら取り組んでいただけると市内外問わず、利用者が増加するのではないかと思います。

【産業部長】

デンパークにつきましては、利用促進を図るため市の広報紙を利用して市民向けに特別入園券を配布し、なるべく多くの市民に足を運んでいただけるよう努めております。また、そのほかにも県内のイベント誘致等を進めながら、知名度の向上に努めてまいりたいと考えております。

【安田孝美座長】

地元の観光地に地元の住民が行かないというのはよくある話かと思いますが、せっかくの資源ですので、上手に連携、プロモーションいただければと思います。

私の話ですが、今様々な場面で、データに基づく観光施策についてお話しさせていただいております。先進事例としては、これまでの勘と経験に基づく施策ではなく、リアルタイムに近いデータに基づいた施策を行っている事例が出てきております。ぜひこの分野でもそうした取り組みをご検討いただければと思います。これはいきなり大きな予算をかけるのではなく、少しずつでもいいので進めながら、多くの方でメリットを共有いただくことが大事かと思っておりますので、こうした視点も計画に盛り込んでいただくとありがたいと思います。

また、関係人口の話もありましたが、人口減少に苦しむ自治体がデジタルの力を活用して、関係人口の獲得に取り組む事例もいくつか出てまいりました。こうした事例の情報収集を行いながら、安城市にあった形で計画を進めていただきたいと思います。例えば、旅行気分農業体験をいただくというような取り組みや、先日報道がありました豊川稲荷において実施されたメタバース空間でeスポーツ大会を行うなどといった事例を参考にしながら安城市の関係人口を増やす試みもご検討いただき、観光支援、交流の一つのきっかけとしていただければと思います。

それでは「観光・交流」の分野についてはここまでとします。

本日の議題については、一通り終了しました。全体を通して意見等はありませんでしょうか。

(意見や質問なし)

【安田孝美座長】

以上で本日の審議を終了させていただきます。本日、委員の皆様から出された意見を踏まえて、事務局にて修正等検討していただきたいと思います。

それでは、事務局へお返しします。

【健幸=SDGs課長】

委員の皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

本日いただいた意見をもとに検討しまして、加筆修正してまいりたいと思います。次回

の分科会は、8月14日（月）午後2時に開催いたします。会場は本日お越しいただいております市役所本庁舎大会議室です。内容としましては、残りの分野別計画をご審議いただきます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会】

以上をもちまして、総合計画審議会第2分科会を終了いたします。本日はありがとうございました。